



日	曜	7月の行事予定	日課	給食
1	水	生徒会専門委員会 簡易清掃 ※15:00 放課	45	○
2	木		45	○
3	金		45	○
4	土	県総体開幕		
5	日			
6	月	①～⑥第1回実力テスト ⑥月6 総合 一次避難訓練 15:20～15:45 ※15:45 放課	50	○
7	火		45	○
8	水		45	○
9	木	資源ゴミ回収	45	○
10	金	資源ゴミ回収 三者面談(金①②③④) ※13:15 放課	45	○
11	土			
12	日			
13	月	三者面談(月①②③⑥) ※13:15 放課	45	○
14	火	三者面談(火①②③④) ※13:15 放課	45	○
15	水	三者面談(水①②③④) ※13:15 放課	45	○
16	木	三者面談(木①②③④) ※13:15 放課	45	○
17	金	1学期終業式 (①表彰、終業式②集会③大掃除④学活) 学校安全の日 ※11:25 放課	45	×
18	土			
19	日			
20	月	海の日		
21	火	夏季休業(～8/31)		

8月の予定

1日(土)2日(日) 四国総体
4日(火) 2年登校日
7日(金) 文化祭有志の部オーディション
12日(水)～15日(土) 学校閉庁日

9月の予定

1日(火) 2学期始業式
2日(水) 課題テスト
生徒会専門委員会
11日(金) 文化祭
17日(木)18日(金) 資源ゴミ回収



篠原嘉一さんの講演を聴いて

5月29日(金)、NITの篠原嘉一さんによるSNSの使い方や危険なアプリについての講演会がありました。1年生から3年生まで全員がアリーナに集合して、最近のSNSの使い方についての注意点や中学生が今使っているアプリの怖さについて詳しくお話していただきました。大人よりも中学生の



ほうがよく知っている SNS の世界。目に見えない無限に広がるその世界の危険性や犯罪に巻き込まれないように、まずは自分が正しい知識を身につけることの必要性をお話ししていただきました。1年生の時にも、篠原さんの講演を聴いていたはずなのですが、1年経ってさらに詳しく、再度自分の身に置き換えて話を聞くことができました。今後一人一人がスマホや SNS の安全な使い方について考えて欲しいと思いました。

みんなの感想から

写真

○自分が入れているアプリで危ないものがあったよりいっぱいあって、ビックリしました。Simeji は小さい時から入れているし、自分がお母さんのスマホにいった気もするので、家に帰ってすぐに消したいです。もし知らずに大人になって

自分のクレジットカードの番号とかがばれてたと思うとめっちゃくちゃ怖いと思いました。(1組)

○私は今回改めて SNS の恐ろしさを感じました。私は最近よく「TikTok」を見えています。今までは、「おもしろいな。私もやってみたいな!!」などと思っていました。でもそれを一歩間違えると、自分の個人情報を世の中にさらけ出すことになってしまうと知って、SNS は恐ろしいと感じました。これからは、「TikTok」などの SNS を使用するときは、設定などをきっちりと確認して、これは危ないサイトではないかを確認していきたいです!! (1組)

○私は今年の4月にスマホを買ってもらいました。初めて聞くアプリの名前が多かったです。位置情報の設定を確認して、できる限りの対策をしていきたいと思いました。それぞれのアプリの使い方について説明があったので、参考にしたいです。家族にも教えて安全に過ごせるようにしたいです。私には妹がいて、よくショート動画を見ているので、使い方を教えていきたいです。今回の講演で、今まで知らない知識がついたので、周りの人に広めていきたいです。していい事と、してはいけない事を判断して使っていきたいです。(1組)

○今日はとても勉強になりました。BeReal とか whoo とかが、そんなめっちゃくちゃ危険で犯罪にまきこまれたりすることにびっくりしました。Simeji はもう消したから良かったけれど、LINE の会話内容までバレるとは知らなかったから、気をつけたいと思いました。BeReal も whoo も取り込みたかったけれど、悩んでました。また、安全な使い方とか調べて親と相談してから決めようと考えています。ちょっとしたことが犯罪になることがあるから気をつけようと思いました。(2組)

○私は今回の講演を聴いて、あらためて「ネットは恐ろしい」という感情を持ちました。軽い気持ちで投稿した写真が永久に消えなくなる。私はインスタなどをやっていませんが、YouTube や LINE はしています。特に YouTube では、私もたまに無心になって目的を持たずにショート動画を見ているときがあるので、これからはきちんと時間や見る目的を決めて使うようにしたいです。(2組)

○中学 1 年生では興味がなかったアプリを中学 2 年生に上がると入れていたので、自分でもビックリしました。特に印象に残ったのがチャッピーに情報をあたえると、世界中に情報がもれていくということでした。僕も結構、チャッピーに相談していたので、「やばっ!」となりました。だから、チャッピーに聞くぐらいなら、先生や親に相談したいなと思いました。これから、スマホの使い方に気をつけます。(2組)

○今回の講演を受けて、スマホを使うのは自分自身が責任を持てるようになってからのほうがいいと思いました。別に見るだけならまだいいけれど、自撮りを投稿するのは、自分の身を滅ぼすんだなと思いました。中学生ぐらいまではキッズスマホでいいと思う。(3組)

○SNS や AI は前から怖いなと思っていましたが、まさか気軽に文字を打つだけで、パスワードなどがばれているとは思いませんでした。(Simeji) インスタグラムも

写真

Xも愛用しているので、これから気をつけていきたいです。特に、知らないうちに位置情報や連絡先が外部にもれているのは怖いです。AIに自分のことをあまり言わないようにしたいです。何よりも新しい機能を知らない、何が怖いか、何ならしてもよいのかが分からないので、自分の考えをアップデートしていくことも大事だと思いました。イヤホンで耳にカビが生えるのも怖いので、使うときは1時間以内にしたいです。(3組)

○私は、Instagramを始めたばかりで知らないことだらけで、とても不安です。これからことが怖い。知り合いにインスタに詳しい人はいますが、今さら始めたなんて言えず、結局知らないことが多いまま使っていました。そう考えると、こういう機会があって、とても助かるなと思います。それはインスタだけでなくTikTok、whooなどのSNSのことが知れてありがたいと思いますし、していいこと、してはいけないことのメリハリをつけることが大切だと改めて感じました。(3組)

ハンセン病に関する人権講演会を聴いて

5月から、2年生の人権に関する学習でハンセン病問題について学んできました。そのまとめとして、6月19日(金)に徳島県人権教育指導員の徳山富子先生にお越しいただき、講演をしていただきました。今の自分たちにできることは何か、今後ハンセン病問題についてどのように伝えていくのか、自分たちが生まれるずっと前からある出来事が、今もなお差別や偏見を生み続けていることについて、みなさん一人一人が自分のこととして学んで考えていきましょう。

写真

◇授業ではだいたい知っていたつもりだったけれど、今回の徳山さんのお話で、詳しいことを知ることができました。その中で一番印象に残ったのは、Nさんのお話でした。ハンセン病のことを伝える講演会で、男の子にひどい言葉を耳元で言われて、それだけでも傷つくのに、その子の母親に疑われてとてもつらかったと思いました。私がNさんの立場だったら、とても嫌で苦しく感じると思います。他にもひどい差別を受けてきたハンセン病の患者さんたちは、とても強い心を持っているんだなと思いました。家に帰ったら、いままでに学習したことを両親に伝えたいと思いました。(1組)

◇今までの学習では取り上げられていなかった、実際に元患者の方と対面している方の話は、より現実味があり、「誰かの話」ではなく「自分の話」だと改めて実感しました。また、「自分の話」として考えるだけではいけないことだとも思いました。徳山さんが言っていたように、私自身が、家族や友だちに話して、少しでもハンセン病のことを知ってもらいたいです。「無知こそ差別の始まり」の言葉どおり、「知らなかった」で終わらないように、私たちが行動に移して、元患者の方々が少しでもふるさとに帰りたいと思えるような場所にしていきたいです。(1組)

◇私は、ハンセン病のことをある程度知っているつもりでしたが、今日

写真

の講演会を聞いて、まだ私の知らないことが多いなと感じました。例えば、家族に迷惑をかけないように自分をもう死んだことにする、患者作業では亡くなった友人の人葬までもする、などです。特に1つ目について、家族はその人が亡くなったことに気づいてあげられないので、とても悲しいなと思いました。私は、林力さんの「無知こそ、差別の始まりである」という言葉を心に留めて、これからもハンセン病の正しい知識を広めていきたいです。(1組)

◇今回の講演会は、今まで学習したことをさらに詳しく聞くことができました。患者の方や元患者の方がハンセン病の差別や偏見のせいで自分の故郷に帰れないこと、患者の家族の人たちが自分の家族がハンセン病にかかってしまったということを周りの住民や知り合いの人にバレないように慎重に生活していたことを考えると、どれほどつらいのかが少し分かったような気がします。徳山先生が元患者の方や患者の家族の人たちに実際に会って話をしたとお話されていて、私もこれからハンセン病問題で苦しんでいる人がいるということ、家族に話をしたり、友だちに話をしたりして伝えていきたいと思います。(2組)

◇今回の講演会で、無知って本当に罪だと思いました。差別している人の言い分も、差別されている人の言い分も、自分自身が無知だから、どちらの言い分が本当なのか判断できない。社会の現状を正しく理解している人がたくさんいれば、何十年も前から続くこれほどのひどい差別も偏見も噂もなかったと思います。私はこれから、差別をしない、させない、ために事実がどうかを理解し、確かめ、自分の無知を改善したいと思います(2組)

◇「無知こそ差別の始まりである」という林さんの言葉がその通りだと思いました。ハンセン病の感染力は本当は弱いし、恐ろしいイメージや不安が、差別や偏見の元となっていることが分かりました。元患者の人たちはいろいろな場所を回って講演をしたり、話をしたりできないことが多いから、私たちがハンセン病の実態と元患者の人たちの苦しみや悲しみを今後も伝えていこうと思います。(2組)

◇今もなおハンセン病の差別が続いているのが、あまり想像できなかったけれど、今回の講演会でやっと想像できました。特に、徳島県出身のNさんに対する若いカップルの行動です。もし、自分が同じことをされたら、腹がたって相手に怒りをぶつけていたと思います。若いカップルがその人の事情も知らずに、2回も顔を覗きこむのは、非常識すぎるし、恥ずかしくないのかと思いました。これからこのような人たちが増えていかにないように、ハンセン病の辛さや苦しさを伝えていきたいです。(3組)

◇今日の講演会を聴いて印象に残ったのは、どんな感染症でも差別が起きてしまうことだ。僕はこの事実を知って、あまり悲観的にはなりません。なぜなら、新型コロナウイルス感染症が流行っていた時は、不安が広がり差別を受けてしまっている人がいましたが、その後に、コロナウイルス感染症にかかっている人がいても、いなくても、ハンセン病問題のように不安や差別を生まなかった。これは大きな成果だと思った。解決は国の責任であるとともに、偏見や差別について、私たちも加害者である自覚が必要である。(3組)

写真

◇隔離や墮胎など、昔されていた差別のことは学習してきていたけれど、現在に残っている差別のことはあまり知らなかった。ハンセン病のことを知らない人たちが、手足などに残る後遺症だけを見て差別をしていることが、とても悲しいと思った。知らないからこそ差別をしてしまうことがあるから、知っている人が正しい知識を広めていくことが大切だと思った。(3組)

保護者のみなさまへ

7月10日(金)からの三者面談お世話になります。お子さまの学校での様子などをお伝えできればと思います。ご多用とは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。